

# 令和6年 第10回定例教育委員会会議録

1. 開催日時 令和6年10月16日(水)  
午後2時35分～午後3時50分
2. 開催場所 柏原市教育委員会 会議室
3. 出席した委員 教 育 長 新 子 寿 一  
教育長職務代理 田 中 保 和  
委 員 近 藤 温 子  
委 員 西 村 弥 生 子  
委 員 太 田 貴 之
4. 出席した職員 教 育 部 長 桐 藤 英 樹  
教 育 監 安 田 典 子  
教 育 総 務 課 長 稲 山 佳 史  
指 導 課 長 小 室 吉 昭  
学 務 課 北 野 典 子  
事務局教育総務課 塩 谷 行 由
5. 議 事 案 件  
議案第23号 柏原市教育委員会表彰について  
議案第24号 柏原市立学校園教職員人事基本方針について  
議案第25号 令和6年度すくすくウォッチの結果の公表内容について
6. 報 告 事 項

## 7. 会議録の承認及び会議の要旨

新子教育長：定刻より少し早いですが、お揃いでございますので、令和6年第10回定例教育委員会会議を開会します。本日の会議録署名委員は、西村委員にお願いいたします。次に、事前に送付させていただいております会議録につきまして、ご意見等ございませんか。

委員全員：なし。

新子教育長：それでは、会議録は承認することにいたします。本日の議事に入っております。本日の議事案件は3件です。では、議案第23号につきまして審議いたします。議案第23号について、教育総務課稲山次長より説明をお願いします。

稲山次長：議案第23号柏原市教育委員会表彰について説明させていただきます。先日表彰審査委員会が開催され、本年度の被表彰者につきましては本日お配りしております資料のとおり、教育功労賞1名、社会教育功労賞10名、文化・芸術功労賞2名、体育・スポーツ功労賞2名、体育・スポーツ奨励賞4名と1団体でございます。以上、ご承認賜りますようお願いいたします。

新子教育長：ご質問、ご意見等ございましたらお願いいたします。

委員全員：なし。

新子教育長：ないようでございますので、議案第23号について、原案どおり承認してよろしいでしょうか。

委員全員：異議なし。

新子教育長：それでは議案第23号柏原市教育委員会表彰については、原案どおり承認することにいたします。次に、議案第24号について、学務課北野課長より説明をお願いします。

北野課長：議案第24号令和7年度柏原市立学校園教職員人事基本方針について、学務課よりご説明いたします。

まず議案にお諮りする前に、これまで柏原市の人事基本方針は当該年度末の方針を提示しておりました。よって昨年度令和5年度は、令和5年度基本方針としてこの教育委員会会議の議案にお諮りしました。しかし府は翌年度当初の人事取扱要領として扱っており、今年度は翌年度である令和7年度の取扱要領を示しております。これにならい柏原市も今年度は令和7年度当初基本方針としてお諮りしますことを最初にお伝えいたします。

それでは改めて議案に入ります。学務課といたしましては、異動は最大の研修であり、育成につながるの考えを大切にしながらも、できるだけ見通しを持たせた人事異動を行うとともに、変化にシなやかに対応でき、成長の機会ととらえることのできる人材育成に努めてまいり所存です。

お手元の資料、令和7年度柏原市立学校園教職員人事基本方針について、ご説明いたします。議案書8ページからご覧ください。柏原市立学校園教職員人事基本方針について、令和7年度当初の教職員人事については、本市の学校園教育の健全な発展と教職員組織の充実を図るため、次の基本方針により行うものです。以降、9ページから11ペ

ージに令和7年度柏原市立学校園教職員人事基本方針案を、12ページから13ページに令和7年度柏原市立学校園教職員人事基本方針取り扱い上の留意事項案をお示しております。変更点としましては、令和7年度当初の異動について、大阪府の令和7年度公立小学校、中学校及び義務教育学校教職員人事取扱要領において、異動年限が変更となりましたので、柏原市においてもそれに準じて変更を行います。変更点については、議案書14ページおよび15ページの新旧対照表をご覧ください。昨年度は6年以上勤務する者の異動を積極的に推進するものでありましたが、令和7年度当初は、現任校に5年以上勤務するものと変更しております。なお、最終、令和8年度当初には、4年以上勤務する者が異動対象となることをあわせてお知らせいたします。

なお、幼稚園の人事異動につきましては、今年度も引き続き、こども施設課と協働して人事ヒアリングを行い、見通しを持たせた人事異動を進めてまいります。以上でございます。ご審議よろしくお願いたします。

新子教育長：ご質問、ご意見等ございましたらお願いたします。

委員全員：なし。

新子教育長：ないようでございますので、議案第24号について、原案どおり承認してよろしいでしょうか。

委員全員：異議なし。

新子教育長：それでは議案第24号令和7年度柏原市立学校園教職員人事基本方針については、原案どおり承認することにいたします。次に、議案第25号について、指導課小室課長より説明をお願いします。

小室課長：議案第25号令和6年度すくすくウォッチの結果の公表内容について、指導課よりご説明申し上げます。まず資料についてですが、全国学力・学習状況調査と同様に、A4横の結果概要とこれまでのように詳細を記した冊子を、結果に関する参考資料として作成しました。市民に向けて公開することを前提に考えた場合、よりシンプルでわかりやすいものをとの意図で作成しております。なお、結果に関する参考資料は、概要版の下に記したQRコードやリンクから見られるようにいたします。

それでは、まず概要版を使って説明いたします。調査目的及び調査対象学年はこれまでと変わりはございません。実施内容は、5年生が、国語、算数、理科という教科の調査と教科横断型問題であるわくわく問題、アンケートでございます。6年生は理科、教科横断型問題であるわくわく問題、アンケートでございます。各教科の平均正答率といたしましては、グラフ赤色が柏原市、青色が大阪府になり、5、6年生とも全ての教科で大阪府を上回っています。また、わくわく問題についても、5、6年生とも大阪府を上回っています。

下は、同一学年での比較で、同一集団ではありまので単純な比較はできませんが、5年の理科、6年のわくわく問題以外は上昇傾向です。右に参りまして、児童アンケート結果では、「自分でやりたい学習内容を考えて、家で勉強している」「何事にも一生けんめい努力する」については、大阪府と比較して強みの見られる結果でした。課題の見られる項目としては「授業で端末を使って、必要な情報を調べる」「授業で端末を使って、

自分の考えを書きこんだり、友だちと意見を交流したりする」が、昨年度と比較して、改善傾向にあります。府との比較では、低い結果となっております。アンケート結果の未来に向かう力と好奇心については、参考資料の方で説明したいと思います。結果概要については、これらの結果をまとめたものになります。

では、詳細については、結果に関する参考資料を用いて説明いたします。2ページ、3ページは、各教科の平均正答率の問題別概要になります。4ページは強み、つまり正答率が高い問題、5ページは、課題の見られる、つまり正答率の低い問題になります。6ページは、教科横断型問題（わくわく問題）の平均正答率の問題別概要になります。7ページは、正答率が高い問題になります。これは、複数の資料を読み取り、論理的に思考する問題になります。5年生も6年生も、府の平均を超えており、6年生は特に良い結果でした。

8ページは、正答率が低い問題になります。これは、現状の課題を把握し、問題を解決しようとしたり、内容を正しく伝えようとする問題になります。5年生は、ほぼ同等ですが、6年生は、府に比べ低い結果となりました。

9ページからは、児童アンケートの結果になります。全体の傾向としては、5年生は、府と比較して良い結果ですが、6年生が少し気になるところがあります。特に、経年比較では、「あなたの学級は、授業中まちがっても笑われない」「自分の考えを積極的に発言している」が大きく低下しており、その他も、全体的に低下している結果となっています。

10ページですが、概要版でもお伝えしましたが、タブレット活用関係では、低い結果となりました。また、下の段に参考として、教員アンケートの結果も載せております。直接、ICT活用頻度と学力向上に相関関係があるわけではございませんが、子どもたちの結果も府と比較して肯定的回答が低いことから、活用頻度についても、改善を図る取組みが必要だと感じております。11ページ、12ページは児童アンケートの詳細になります。教育委員会としましては、分析結果を市内で共有するとともに、学力向上に向けた取組みを推進してまいります。報告は以上でございます。ご審議よろしくお願いたします。

新子教育長：ご質問、ご意見等ございましたらお願いいたします。

近藤委員：一番最後のページ、令和5年は青の線で、令和6年は赤い線ですけれども、重なって見づらくなっています。改善する方法はありますか。

小室課長：どこまでの情報を載せるかということになりますが、現状、府からもらう資料と同じかたちで記載をしています。グラフのポイントが近いので、この場合、仕方がないのかなと考えています。

近藤委員：分かりました。

田中委員：全国学テでは府より学力が低く出ている、すくすくでは高く出ているですね。

こちらについてはどのような事柄が考えられますか。

安田教育監：全国学テとすくすくがリンクしているのかどうかといった問題はありますが、長いスパンで見た場合、平均より少し低かったり、高かったりということを繰り返して

いると見ています。

近藤委員：5年生の算数では正答率がとても低かったりするので、問題としてどうなのかなと思ったりしますね。

太田委員：正答率が30パーセント台の問題は決して良い問題ではないと思います。市町村から大阪府に対して意見を出したりはするのですか。大阪府からすると、これぐらいの問題は解いてくれということでしょうけれども。

小室課長：担当間では意見のやりとりはしていると聞いています。

安田教育監：最初の頃はもっと子どもたちの現状と乖離したような問題が多かったので、一定精査はされているのかと思います。しかし今回の問題を見ると、これは大阪の子どもたちの課題なのか、それとも問題作成者の課題なのか疑問が残るところではあります。

新子教育長：ありがとうございます。他にご質問、ご意見等ございましたらお願いいたします。

西村委員：わくわく問題だけに関してみると、5年生より6年生のグラフの値が一回り大きいので、解きなれてきているのかなと感じました。アンケートの強みと課題では、家任せにせず、学校の中でもよく見ているということが分かりました。

新子教育長：ありがとうございます。はい、太田委員お願いします。

太田委員：強みのみられる項目で、自分でやりたい学習内容を考えて家で勉強をしているという項目がありますが、他のアンケートでは、柏原市は家庭学習時間が短いという結果がある中で、家で勉強をしていると答える子どもが今回は多かったと。結果が違うことについて分析はされていますか。5、6年生になって家でも勉強し始めたということであればよいですが。

小室課長：担当とその話もしたのですが、正直分からないということでした。もしかしたら学年のカラーがあるのかもしれませんが。柏原市の傾向というよりも、学年の傾向である可能性が高いと考えています。

安田教育監：他のアンケートで柏原市の子どもたちは家での勉強時間が少ないという結果がありましたが、今回のアンケートでは、学校で学んだことで、興味が湧いたことについて自分で調べたり学んだりしたかという聞き方をしています。そのため、柏原の子どもたちは、時間数は少ないけれども、興味・関心があるものについては自主的に勉強しているという結果が分かりました。時間数の少なさは課題ではありますが、一定、家で勉強をしたくなるような授業は出来ているのかなと考えております。

新子教育長：他にご質問、ご意見等ございましたらお願いいたします。

委員全員：なし。

新子教育長：ないようでございますので、議案第25号について、原案どおり承認してよろしいでしょうか。

委員全員：異議なし。

新子教育長：それでは議案第25号令和6年度すくすくウォッチの結果の公表内容については、原案どおり承認することにいたします。本日の議事案件は以上です。

(こども施設課より認定こども園等入園願書受付状況について、指導課より議決追認報告について報告)

以上で第10回定例教育委員会会議を閉会いたします。

本教育委員会会議の議事の経過に相違ないことを証するためにここに署名する。

令和 年 月 日

柏原市教育委員